

青少年専門員だより

79号

令和7年8月4日



令和7年度「青少年の被害・非行防止全国強調月間」

令和7年7月1日（火）～7月31日（木） 1カ月

最重点課題：インターネット利用におけるこどもの性被害等の防止

例年、夏休みに入る7月を「青少年の被害・非行防止全国強調月間」とし、関係機関、自治体等と連携し、また、地域の皆様方のご協力も得ながら、様々な活動を集中的に実施していただいております。

各市町におきましては、年度当初の計画に基づき、環境浄化活動（一斉活動）等を行っていただきました。これまでの継続した活動により、青少年にとってよりよい社会環境づくりが進められてきましたことは、大変意義あることであり、大きな成果となって表れております。

一方で、青少年を取り巻くインターネット利用環境が一層多様化し、SNSやオンラインゲームに起因して、性犯罪等の被害に遭う子どもの数が高い水準で推移をしています。特に子どもの性被害は、極めて深刻な状況です。SNSやオンラインゲームを通じて面識のない人と知り合い、被害に遭った子どもが、令和6年は全国で1,486人、そのうち小学生はなんと136人で、被害の約1割を占めています。

また、非行については、いわゆる闇バイトに応募し、子どもが強盗や特殊詐欺に加担したり、SNSにより容易に薬物が入手できるようになったりしたこともあり、大麻の検挙人員が過去最多となるなど、大変憂慮すべき状況です。背景には、子どものインターネット利用時間が年々増え、また、利用の低年齢化も進んでいることがありますが、根底には、子どもたちのインターネットをめぐる利用環境の変化に乗じて、巧妙に騙したり、脅したりする大人の存在が必ずあり、こうした大人から子どもたちを絶対に守らなければなりません。

他方、インターネットは今や生活を送る上で欠くことのできないツールで、これは子どもたちにとっても同じです。しかし、インターネットは日々進化を遂げ、犯罪も巧妙化の一途をたどっています。子どもが、犯罪等に巻き込まれることなく、安全に安心してインターネットを利用できるようにするためには、私たち大人が子どもをしっかりと見守り、子どもが自ら適切に判断してインターネットを活用する能力を身に付けることが最も重要だと考えます。

標記強化月間は終了しましたが、“明るいやまがた”夏の安全県民運動は8月21日（木）までが実施期間となりますので、引き続き実施要綱の4つの運動の重点に沿った取り組みをお願いします。

リスク①

小学生などの年少者も被害に遭っている！



リスク②

ゲームの上級者に対する「憧れ」の感情を利用される！



リスク③

協力してゲームを行うことを通じて、見知らぬ者にも「仲間意識」を持ちやすい！



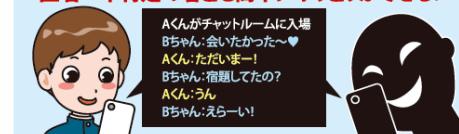
リスク④

「高価なアイテムをあげる」といった甘い言葉に乗せられ、言うことに従ってしまう！



リスク⑤

ほとんどのゲームに「ボイスチャット」や「メッセージ交換」の機能が備わっており、匿名・不特定の者とも簡単にやりとりができる！



（警察庁ホームページより）

“場所が変わっても 本人が変わらんと やっぱ一緒なんです”

講師のソラシド 本坊元児 氏（山形県住みます芸人）の言葉から、青少年育成に携わる私たちの“これから”を考えてみました。

～「こどもまんなか社会の実現」に向けて～

- ◆常にこどもの最善の利益を第一に考え、こども・若者の声に耳を傾け、こども・若者の視点に立った活動を立案・実施する組織になろう。
- ◆こども・若者の育成に関係する人々へ分かりやすい発信と対話を重ね、協働し、社会全体を巻き込む組織になろう。

活動の主体として、前例にとらわれず、柔軟な発想で積極的に改善・改革に挑戦する姿勢が大切であることをご教示いただきました。



ソラシド
本坊元児 氏

えっ!! 子どものおもちゃが!?

クレーンゲームの景品として輸入された玩具銃が、本物の拳銃と同様の発射能力があり、所持していると銃刀法に抵触する恐れがあるとして、県警は最寄りの警察署に届け出るよう注意喚起を促しています。玩具銃の商品名は「リアルギミックミニリボルバー」です。プラスチック製で、プラスチック弾も付属しています。ケースには対象年齢が12歳以上との記載があり、ゲームセンターのクレーンゲームの景品等で、子どもたちも保護者も知らないうちに手に入れた可能性もあると思われますので、青少年育成に関わる関係者及び各家庭との情報共有を進めていただきたいと思います。



（県警のホームページより）

県警のホームページを
ご確認ください。



「新たに把握した玩具と称した真正拳銃について」

毎月第3日曜日は「家庭の日」

8
月

「地域の人々とふれあい、
交流を深める」

・家族で地域の行事に
参加しましょう。



9
月

「お年寄りを敬い、お互いを
思いやる」

・おじいちゃん、おばあ
ちゃんと話をしましょう、
話を聞きましょう。



上段が月別推進テーマ、下段が行動実践事例です。

家族そろって笑顔で過ごす時間をつくりましょう